

明治～昭和期の日本の 雑誌・新聞記事の探し方

2025.11 大阪大学総合図書館 学習・調査支援担当
(参考調査カウンター)

皆さんこんにちは。

E-learning教材「明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方」をご覧ください、ありがとうございます。

大学院生・研究者の方にも、卒論を準備する3・4年生の方にも参考となる内容の教材です。

本講習会のポイント

発行時期

明治・大正・昭和期

対象とする資料

日本の一般誌・大衆誌の記事 ※学術雑誌論文は今回は対象外

日本の新聞の記事

**これらの資料の記事情報を探す方法と
実際に入手する方法をご紹介します**

2

この教材は、明治から昭和期に日本で発行された一般誌や大衆誌、新聞の記事を使って、当時の文化や社会を研究する方に役立つ内容を紹介します。
ここで言う「記事」には、雑誌や新聞に掲載された文芸作品なども含まれます。
今回は、記事情報の探し方と、資料を実際に入手する方法を見ていきます。ただし、学術雑誌に載った論文は対象外です。

ご存じの方も多いと思いますが、これらの記事情報はとても探しにくいものです。検索ツールの特徴を理解して、うまく組み合わせて使うことが大切です。
どのツールを使うか、どう組み合わせるかは、研究テーマによっても変わります。そこで今日は、探索方法の全体像と、押さえておきたいポイントを紹介していきます。

本講習会の構成

1. 雑誌記事情報の探し方
2. 新聞記事情報の探し方
3. 実際に記事を手に入る



3

教材の構成です。

まず、記事情報の探し方を、雑誌記事、新聞記事の順に見ていきます。
続いて、見つけた記事をどのように入手するか、その方法をお話しします。

1.雑誌記事情報の探し方

第1章では、雑誌記事情報の探し方についてお話しします。

雑誌記事情報を探すには複数のツールを使い分けよう

網羅的なデータベースは無い

条件に該当する記事を探している（＝特定の記事ではない）場合は、複数の探索ツールを併用し、他にも該当記事がないか確認してみる

紙の書誌索引や参考図書等にしか無い情報も多い

データベースやWeb上では検索できないが、紙の資料に情報があるケースが多い
主要な書誌索引・参考図書を頭に入れておくと探索の幅が広がる

5

はじめに、記事情報を探すときは複数のツールを使い分けることをおすすめします。

残念ながら、これさえ検索すれば全ての記事情報を探せる、という網羅的なデータベースは存在しないことを念頭に、

ある条件に該当する記事をできるだけ多く探したいという場合、1つのデータベースだけ検索するのではなく、複数のツールを併用することをおすすめします。また、紙の書誌索引や参考図書でしか探せない情報もまだまだ存在しています。こういった紙の資料の存在を頭に入れておくと、探索の幅が広がります。

データベース活用のポイント

どのような雑誌のどのような年代が収録されているかを知る

データベースのヘルプページや提供元Webサイトで、**収録内容を確認**する

収録内容が明記されていない場合は、**内容を探ってみる**

雑誌名を指定して検索：自分がよく活用する雑誌名で検索してみる

記事の出版年を指定して検索：自分が着目している年代の収録記事量を探る

どのような検索機能があるか知る

「詳細検索」機能など**高度な検索機能**があるかを確認する

AND検索やOR検索など、キーワードの掛け合わせができるかを確認する

つぎに、すべてのデータベースに共通する、活用のポイントを2つあげました。

1つめは、どのような雑誌の、どのあたりの年代が収録されているかを知ることです。

データベースのヘルプページや提供元のWebサイトなどで収録内容を確認できます。

詳しい収録内容が明記されていない場合には、よく活用する雑誌名で検索してみたり、

お探しの年代の情報がどのくらい収録されているかを確認してみます。

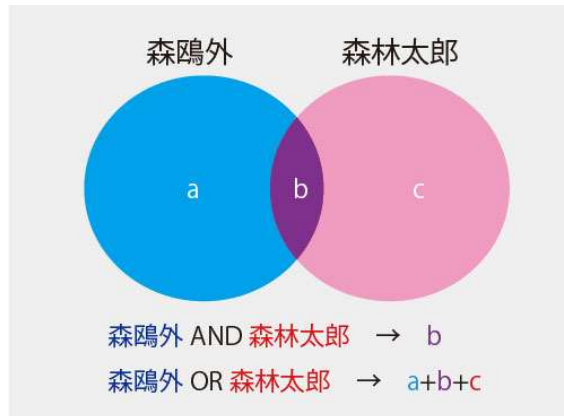
次に、どのような検索機能があるかを知ること。

多くのデータベースは高度な検索機能を備えています。

詳細検索画面を見たり、キーワードの掛け合わせができるかどうかを確認してから有効に活用しましょう。

データベース活用のポイント

OR検索が有効な場面



ペンネームや本名など、ある人物が書いた もしくは ある人物についての記事を漏れなく検索したい

ex. 「森鷗外」と「森田太郎」

組織・事項の名称のさまざまな呼び方や、名称の変遷を含めて検索したい

ex. 「大阪大学」と「大阪帝国大学」

つぎに、AND検索とOR検索です。

AND検索は通常皆さんが検索するときに使う方法かと思います。

阪大OPACやGoogleで検索するとき、キーワードとキーワードの間にスペースを入れて検索するとAND検索になりますが、「入力したキーワードをすべて含むものを検索する」という方法です。

一方、OR検索は「入力したキーワードの一つでも含むものを探す」という方法で、網羅的な検索に向いている方法です。

たとえば、本名以外にペンネームを持つ人物についての記事を漏れなく検索したい、といったケースで有効です。

スライドでは、森鷗外や大阪大学の例を挙げていますが、このほかにも、同義語、類義語などを含めた検索などに向いています。

CiNii Research について

学術書や雑誌論文を探すことに主眼をおいたデータベース

学術雑誌論文に焦点を当て、さまざまな情報源からデータを収録

明治～昭和期の日本の一般誌・大衆誌などの雑誌記事を探すにはあまり有用ではない

ある事柄・人物についての研究論文 / ある人物の執筆した研究論文
→CiNii Researchなどの論文データベース

ある事柄・人物についての一般雑誌記事、ある人物の執筆した一般雑誌記事
→このあと紹介する雑誌記事データベースや書誌索引など

という形で、検索ツールを使い分ける必要があります。



8

ここで、CiNii Researchについても簡単に触れておきます。

日本語論文を検索するときの代表的なデータベースです。みなさんの中にも、利用された方は多いかと思います。

CiNii Researchは、学術書や学術雑誌論文を検索することに主眼を置いたデータベースです。そのため、一般誌や大衆誌の記事情報の収録は少なく、今回の講習会が対象とするような資料の検索には有用ではありません。

学術雑誌論文を検索したい場合は、CiNii Researchなどの論文データベースを活用し、一般雑誌記事を検索したい場合は、このあと紹介するデータベースや紙の資料を活用する、というように検索ツールを使い分ける必要があることを覚えておいてください。

①ざっさくプラス (雑誌記事索引集成データベース)

大阪大学で契約している有料データベース (同時アクセス5)

主な収録内容

過去に出版された目録・総目次等から独自に索引した目次データ

国立国会図書館デジタルコレクションのうち、戦前の雑誌の目次データ

※ざっさくプラス独自に目次を拡充

全国誌だけでなく地方誌、戦前植民地期の朝鮮語雑誌も収録



雑誌記事索引データベース
ざっさくプラス
総合雑誌から地方誌まで、明治から現在まで
The Complete Database for Japanese Magazine and Periodicals from Meiji Era to the Present.

検索記事
総数

20世紀メディア情報DB連携時 **31,504,818** 件
20世紀メディア情報DB非連携時 **29,539,921** 件

約2,900万件の
記事情報

9

ではここから、具体的なデータベースについて詳しく紹介していきます。

1つ目に紹介するデータベースは「ざっさくプラス」です。

「ざっさくプラス」は、明治初期から現在までに日本国内で刊行された雑誌の記事を調べるためのデータベースです。

『明治・大正・昭和前期 雑誌記事索引集成』という120巻からなる索引が1990年代に刊行されており、それをデータベース化したもので、現在も収録内容が増え続けているのが特徴です。

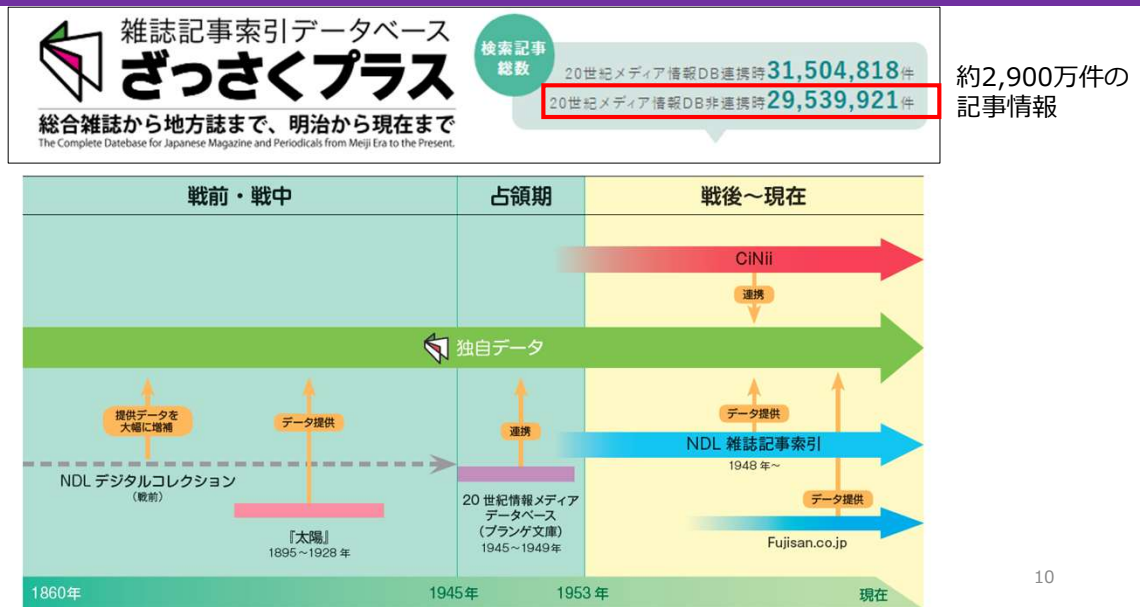
検索できるのは主に目次データとなりますが、記事本文が入手できる場合もあります。

ざっさくプラスは大阪大学で契約しているデータベースで、阪大所属の皆さんが利用できます。

同時アクセスは5、つまり阪大の中で同時に使えるのは5人まで、という制限があります。

アクセスできなかったら、時間をおいて再度アクセスしてみてください。

ざっさくプラスを構成するデータ群



こちらは、ざっさくプラスを、他の類似するデータベース比較した表です。真ん中の黄緑色独自データという矢印が「ざっさくぷらす」を表しています。

矢印が1860年から現在まで切れ目なく続いていることが見て取れますね。ざっさくプラスでは、明治初期から現代まで約160年刊の間に書かれた雑誌記事の情報が網羅的に検索できます。

2025年現在、収録データ件数は2950万件をこえています。

①ざっさくプラス：アクセス方法

キャンパス内からのアクセス

図書館Webサイトの「データベース」タブ

→「すべてのタイトルを表示」

→**ざっさくプラス**をクリック

キャンパス外からのアクセス

図書館Webサイト

→「キャンパス外から電子リソースを使う」

→**ざっさくプラス**をクリック

→阪大個人IDとパスワードでログイン



11

ざっさくプラスへのアクセス方法をご紹介します。

大阪大学のキャンパス内からアクセスする際には、

1. 図書館のWebサイト、トップページの検索窓の上にある「データベース」のタブをクリック
2. 「すべてのタイトルを表示」をクリック
3. 「ざっさくプラス」を探してクリック という手順です。

大阪大学のキャンパス外からアクセスする際には、

1. 図書館のWebサイト、トップページにある「キャンパス外から電子リソースを使う」をクリック
2. キャンパス外から使えるデータベースなどの一覧が表示されるので「ざっさくプラス」を探してクリック
3. 大阪大学個人IDとパスワードでログインを行う という手順です。

キャンパス内とキャンパス外では、アクセス方法が違うことにご注意ください。

①ざっさくプラス：簡易検索モード

簡易検索モード

論題名と著者名を対象にキーワード検索

トップページ

簡易検索 詳細検索 図版検索

森鷗外

表示件数 ☐ 20件 ☐ 50件 ☒ 100件

☐ CiNiiと連携する [?](#)

全データのうち「論題名」と「執筆者名」をAND検索します。「論題名」「執筆者名」「雑誌名」など、検索項目を指定して検索する場合は「詳細検索」を使います。

検索

検索結果一覧

森鷗外氏の新體詩談

無記名

明治39年,太陽,第12巻5號

陣中俳句(網目版)

森鷗外

明治39年10月,光風,第2年第4号(第8号)

12

こちらが「ざっさくプラス」のトップページです。
画面の上のボタンで「簡易検索」「詳細検索」「図版検索」の3つのモードの切り替えができます。

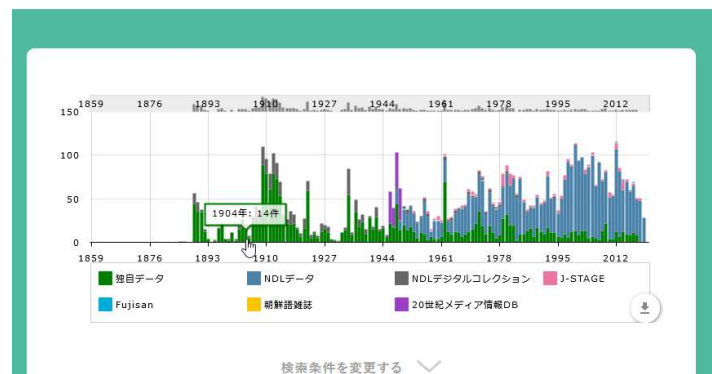
ここでは、簡易検索モードについて解説していきます。
簡易検索モードでは、記事のタイトルと著者名を対象にして検索できます。
今回は「森鷗外」というキーワードを入力して、検索ボタンをクリックします。

①ざっさくプラス：検索結果画面の見方

検索結果一覧上部のグラフ

ざっさくプラスに収録された出版年ごとの収録記事の件数が一目で分かる
該当年をクリックすると、検索結果一覧のうち、その年へ飛ぶことができる

「森鷗外」の検索結果一覧



13

検索すると、このようなグラフが表示されて、グラフの下には記事情報が出版年の古い順に並びます。

このグラフは、ざっさくプラスに収録された、出版年ごとの収録記事の件数を表示したものです。

グラフをクリックすると、検索結果一覧のうち、その年代のところまで飛ぶことができます。

論題名をクリックすると詳細情報が表示されます。その記事が、どの雑誌の何巻何号に掲載されているかが分かります。

簡易検索モードでは、入力したキーワードが、記事のタイトルまたは著者名に含まれているものがヒットします。

ざっさくプラスは主に目次情報を収録しているデータベースなので、記事の本文を検索できる全文データベースではないことに注意してください。

①ざっさくプラス：AND検索とOR検索

ペンネームや外国の地名・人名表記などを含めた同義語検索機能が一部あるが、何が同義語の対象になっているかは公開されていない

⇒正確な検索をしたいときは**OR検索**がおすすめ

AND検索「キーワード△キーワード」

OR検索「キーワード△OR△キーワード」

※ △は半角スペースを表す



<講演>黄禍論梗概(早稲田大学科外講義)

医学博士 **森林太郎**
明治37年6月1日,早稲田学報,101

日蓮聖人辻説法

森鷗外作
明治37年3月31日,歌舞伎(歌舞伎発行所),47(臨時刊行 日蓮聖人辻説法鷗外森博士作
伎座興行)

検索結果を見て、気づかれた方もいらっしゃるかもしれませんが、「森鷗外」だけでなく、本名の「森林太郎」名義で発表されたものもヒットしています。

これはなぜかという、と、「ざっさくプラス」には同義語検索機能があり、「森鷗外」で検索したときに「森林太郎」も自動で検索できるようになっているからです。

ただ、何がどのように同義語検索できるのか、という情報は公開されていないため、より正確な検索を行いたいときは、ご自分でキーワードを検討してOR検索するほうがおすすめです。

トップページに戻って、OR検索とAND検索の方法をご紹介します。

まずAND検索は、二つのキーワードの間に半角スペースを入れるだけです。

一方のOR検索は、二つのキーワードの間に、半角スペース、大文字の「OR」、半角スペース、という形で入力します。

森鷗外と、本名の森林太郎をOR検索してみると、森鷗外名義のものと、森林太郎名義のものを同時に検索することができます。

①ざっさくプラスの留意点：重複データ

さまざまな情報源からデータを採録しているため、**同じ記事の情報が重複している場合がある**

⇒詳細情報などをふまえ、同じ記事かどうかを見極める

日蓮聖人辻説法 森鷗外作 明治37年3月31日,歌舞伎(歌舞伎発行所),47(臨時刊行 日蓮聖人辻説法鷗外森博士新作歌舞伎座興行)	10 <input type="checkbox"/>
日蓮聖人辻説法 森鷗外 明治37年,歌舞伎,3月31日号	11 <input type="checkbox"/>
 日蓮聖人辻説法 森鷗外 1904-03,歌舞伎,(47)	17 <input type="checkbox"/>

15

ざっさくプラスの検索結果を見ていく際の留意点として、重複データの存在があります。

さまざまな情報源から記事の情報を集めているため、それらの情報が統合されず重複して表示されていることがあります。

たとえばこの「日蓮聖人辻説法」は、明治37年すなわち1904年発行の雑誌『歌舞伎』の3月発行号に掲載されているものですが、重複データと思われるものが3つヒットします。

こういうときは、論題名をクリックした先に表示される詳細情報もふまえて、同じ記事情報かどうか見極めるようにしましょう。

10はCiNii Booksのデータ

11は復刻版（雄松堂書店出版）

17は国立国会図書館のデータ

①ざっさくプラス：検索のコツ

検索方式

簡易検索モード：雑誌記事のキーワード検索が可能（検索対象は論題名と著者名のみ）

異体字（芸と藝 など）もまとめて検索可能

ペンネームや外国の地名・人名表記などを含めた同義語検索機能が一部あり

論理演算の入力方法（△は半角スペース）

AND検索：検索窓に「キーワード△キーワード」と入力

OR検索：検索窓に「キーワード△OR△キーワード」と入力

検索の注意点

目次にはヨミデータが入っていない：漢字も含めて表記が完全一致しないとヒットしない

重複データ：複数の情報源からデータを採録しているため、記事が重複することもある

ざっさくプラスの検索のコツをまとめました。

①ざっさくプラス：検索モード

詳細検索モード

論題名や著者名、雑誌名など、**項目を指定した検索**が可能

※簡易検索モードにある論題名＋著者名の検索窓がないため、
漏れなく検索したいときには少し不便

図版検索モード

「図版や写真がついている**可能性がある**」記事を検索可能

※ざっさくプラス側で実際に図版や写真がついているか確認しているわけではない

※論題等に「図版」「写真」などのキーワードが入っているものを機械的に抽出

簡易検索	詳細検索	図版検索
論題名	検索キーワードを入力してください	
著者名	検索キーワードを入力してください	
雑誌名	検索キーワードを入力してください	
刊行年	指定なし ▼ 年～ 指定なし ▼ 年	
巻号	検索キーワードを入力してください	

ここで「詳細検索」と「図版検索」についてご紹介します。

「詳細検索」では、論題名・著者名・雑誌名・刊行年などの項目を指定して検索することができます。

ただし「簡易検索」のように、入力したキーワードについて、論題と著者名を一括で検索するという機能はないため、
たとえば、ある人物に関する記事をもれなく検索したい場合には、「詳細検索」ではなく「簡易検索」を使う方が便利です。

「図版検索」では、図版や写真が付いている可能性がある記事を検索できます。
ただし、ざっさくプラス側で、実際に図版や写真が掲載されているかどうかを確認しているわけではなく、論題などに「図版」や「写真」などのキーワードが入っているものを機械的に抽出しています。

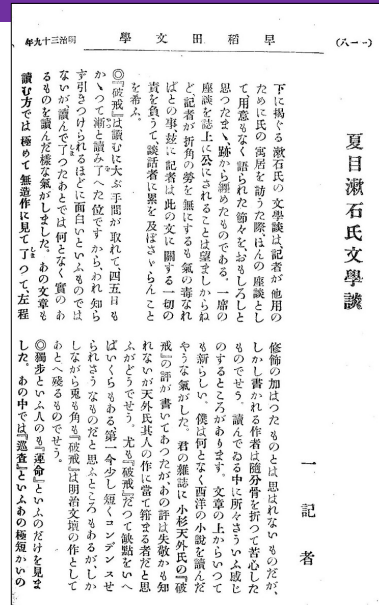
①ざっさくプラス：詳細検索モード

インタビュー記事・座談会記事は

論題に著者名、発言者名が入っていることがある

→ 簡易検索モードで検索する方が漏れがない

詳細情報	
論 題	夏目漱石文学談
著 者	一記者
掲載誌	早稲田文学(第二次)
巻 号	第8号
刊行年月日	1906年8月1日
掲載頁	118
書誌所蔵情報	CINIL Booksで検索
出典	早稲田文学(第2次)1(1906年1月1日)～157(1918年1月1日)
購入	日本の古本屋で買う



詳細検索モードで著者名を指定して検索するときについて補足します。

著者名を指定して検索するシチュエーションとして考えられるのは、その人が書いたこと、話したことをできるだけたくさん拾いたい、という時かと思えます。

インタビュー記事や座談会の記事などもその対象に含まれるかと思いますが、ざっさくプラスではそうした記事の場合、人物名が論題名のところに記述されていることが多くあります。

たとえば、スライドには、夏目漱石へのインタビュー記事を表示していますが、「夏目漱石」という名前は論題名のところにあって、著者はインタビューした「一記者」と書かれています。

この記事は、詳細検索モードで著者名を「夏目漱石」として検索しても、出てきません。詳細検索の結果が少ない時には、簡易検索モードに切り替えて検索してみてください。

簡易検索なら、論題名と著者名を同時に検索できるので、漏れのない検索が可能であると言えます。

詳細検索で思ったほどヒット件数が少なかったときは、簡易検索モードに切り替えてみるのも一つの手です。覚えておいてください。

②国立国会図書館デジタルコレクション

主な収録内容 <https://dl.ndl.go.jp/ja/intro#idx4-1> (2025年11月時点)

- 国立国会図書館所蔵の図書
明治期以降、2000年までに整理された図書約253万点
- 国立国会図書館所蔵の雑誌
明治期以降に刊行された雑誌約140万点（刊行後5年以上経過したもの）
1号=1冊、多くの資料に目次データが付与されている
- 国立国会図書館所蔵の古典籍資料（貴重書等）
江戸期以前の和古書、清代以前の漢籍など、貴重書・準貴重書約10万点
- 博士論文
国立国会図書館では大正12（1923）年9月以降の国内博士論文を所蔵し、
そのうち、デジタル化されたものが約32万点
著者から許諾を得た博士論文については主論文をインターネットで公開

19

2つ目のデータベースとして、国立国会図書館デジタルコレクションを紹介しましょう。

これは、国会図書館が所蔵する資料をデジタル化して、画像閲覧、目次の検索、さらに一部の資料については本文の全文検索ができる大変便利なデータベースです。

無料で誰でも使えるデータベースですので、明治～昭和期の日本の図書・雑誌を調べる方にとっては必須のツールです。

デジタルコレクションでは、明治期以降2000年までに整理された図書が約253万点収録されています。

雑誌については、明治期以降に刊行され、刊行後5年以上が経過したものが約140万点収録されています。

このほか、貴重書や博士論文、電子書籍なども収録されています。

②国立国会図書館デジタルコレクション

図書・雑誌など約355万冊の全文検索が可能

<https://dl.ndl.go.jp/fulltext-search>

詳細検索画面

The screenshot shows the search interface of the National Diet Library Digital Collection. At the top, there are fields for 'Title, Author, Publisher' and a 'Search' button. Below this, there are checkboxes for 'Search method' (Full-text search, OCR, etc.), 'Login', 'Send service', and 'National Diet Library only'. There are also input fields for 'Title', 'Author/Editor', 'Publication date' (with a dropdown for 'Year' and a range selector), and 'Publisher'. At the bottom, there are checkboxes for 'Full-text search' (highlighted with a yellow box) and 'Include volume numbers'.

現在の検索対象

- ・ OCR（光学文字認識）処理によるデジタル化資料（図書、雑誌等の一部）の全文テキスト
雑誌：明治期以降に刊行された雑誌（2000年までに出版されたもの）
図書：明治期以降、1968年までに出版された図書
震災・災害関係資料の一部（1969年以降に受け入れたものを含む）
- ・ 電子ファイルに埋め込まれている全文テキスト（電子書籍・電子雑誌、電子形態で収集した博士論文）
※こちらはもともと電子資料として発行された資料なので、明治～昭和期の雑誌記事検索には関係せず

20

国立国会図書館デジタルコレクションは、2025年11月時点で、全文検索ができる図書・雑誌が約355万点になり、さらに毎年データが追加されています。他のデータベースでは見つからなかった図書や雑誌記事を見つけることができますし、特に、固有名詞や珍しい言い回しでの検索は、デジタルコレクションの得意分野です。

その一方、一般的な単語で検索すると、ヒット件数が多くなりすぎてしまいます。その場合は詳細検索で、項目や年代を絞ってみてください。

このように非常に便利なツールなのですが、デジタルコレクションに収録されている資料がすべてではない、という点をご注意いただければと思います。

国立国会図書館は「納本制度」に基づき国内出版物を収集していますが、本格的な収集は昭和26年頃から始まりました。

そのため、昭和25年以前の資料は収集されていない可能性があります。日本最大のコレクションですが、明治～昭和初期の雑誌について網羅的とは言えない点にご注意ください。

②国立国会図書館デジタルコレクション

デジタル画像には、3段階の公開レベルがある

1. ログインなしで閲覧可能：いつでもどこでも閲覧・ダウンロード可能
2. 送信サービスで閲覧可能：個人向けデジタル化資料送信サービスに利用者登録を行い、ログインして閲覧・著作権の範囲内で印刷・ダウンロード可能

国立国会図書館の利用者登録（個人）について

<https://www.ndl.go.jp/jp/registration/index.html>

3. 国立国会図書館内限定：国立国会図書館に直接行く もしくは ILLで複写を取り寄せ

	ログインなしで閲覧可能	送信サービスで閲覧可能	国立国会図書館内限定
図書	約37万冊	約128万冊	約88万冊
雑誌	約2万冊	約83万冊	約55万冊

※令和7年6月末現在

21

デジタルコレクションに収録されている資料の画像は、著作権の保護状態によって、公開レベルが3段階に分かれています。

一つ目が「ログインなしで閲覧可能」なレベルです。これは著作権など権利状況に問題がないことが確認できたものです。いつでもどこでも閲覧・ダウンロードができます。

二つ目が「送信サービスで閲覧可能」なレベルです。これは個人向けデジタル化資料送信サービスと呼ばれ、個人アカウントでログインしてご自分のパソコンやスマホから見るすることができます。登録は国会図書館Webサイトから可能です。

詳しくはスライドのURLをごらんください。

スライドの下の方を見ていただくと、「ログインなしで閲覧可能」「送信サービスで閲覧可能」の資料をあわせると、デジタルコレクション全体の6割ほどが閲覧可能になります。無料ですので、ぜひ送信サービスへの登録をご検討ください。

三つ目のレベルが「国立国会図書館内限定」です。著作権の保護期間内の資料などです。国立国会図書館に直接行って見るすることができます。また、行かなくても、必要な部分のコピーの取り寄せが可能です。

②国立国会図書館デジタルコレクション

アクセス方法

検索だけなら無料でどこからでもアクセス可能 <https://dl.ndl.go.jp/>



22

こちらがデジタルコレクションのトップ画面です。
Googleなどで「国立国会図書館デジタルコレクション」と検索して、アクセスしてください。誰でもアクセス可能・検索可能です。

検索する前に、検索窓の上にある、赤、緑、青の3つの公開レベルのすべてにチェックが入っていることを確認してください。
デフォルトで3つともチェックが入っていますよね。

「送信サービスで閲覧可能」と「国立国会図書館限定」の資料であっても、目次情報の検索は無料でできます。検索の幅を広げるため、このまま検索するのをお勧めします。

今回は、「夏目漱石」というキーワードで検索してみます。

②国立国会図書館デジタルコレクション

検索結果一覧



23

こちらが検索結果の一覧です。

入力したキーワードで、雑誌のタイトル、記事のタイトル、図書のタイトルや目次などの事項をまとめて検索します。

右上のプルダウンでは、一度に表示する件数や、検索結果の並べ方をお好みで変えることもできます。

先ほど説明した3つの公開レベルは、画面の右側にあるアイコンと文字で分かるようになっています。

「送信サービスで閲覧可能」は本棚のアイコン、地球儀のオレンジ色のアイコンは「ログインなしで閲覧可能」のレベル、「国立国会図書館内限定」は図書館のアイコンです。

②国立国会図書館デジタルコレクション



書誌情報	
永続的識別子	info:ndljp/pid/7972139
タイトル	ホトトギス 2(7)
出版者	ホトトギス社
出版年月日	1899-04
請求記号	Z13-233
書誌ID	000000022229
識別子 (DOI)	10.11501/7972139

「永続的識別子」をメモしておく
と後日読み返すときに便利

※これを検索窓に入れて検索すれば
このページだけヒットする

ために『ホトトギス』という雑誌の2巻7号を見てみましょう。こちらが詳細画面です。

これは「送信サービスで閲覧可能」の資料なので、本文の画像は見られませんが、個人でも利用者登録すればログインして画像が見られるようになります。また、利用登録をしていない状態でも、右側の目次情報だけは見られるようになっています。お探しの記事かどうか、ここを見て判断してください。

画面の下の方には、この資料の情報がまとめられています。一つ便利なものとして、永続的識別子というものがあります。これはデジタルコレクションにおけるIDのようなもので、一つの資料につき一つふられています。これをメモしておく、後日読み返したいときにこの識別子を検索窓に入れて検索するだけでよく、大変便利です。

②国立国会図書館デジタルコレクション

特定の雑誌の目次を探す

雑誌名をタイトル欄に入力
完全一致検索は /雑誌名/

キーワード

検索方法 ☒ ログインなしで閲覧可能 ☒ 送信サービスで閲覧可能 ☒ 国立国会図書館内限定

タイトル

著者・編者

出版年月日 西暦 年 ~ 年 出版者

オプション ☒ 全文検索 ☒ 巻号を含める

へ 詳細検索

コレクション ☐ 図書 ☒ 雑誌 ☐ 古典籍資料 (貴重書等) ☐ 博士論文 ☐ 官報 ☐ 憲政資料 ☐ 日本占領関係資料 ☐ プラタ文庫 ☐ 録音・映像関係資料 ☐ 歴史的音源 ☐ 地図 ☐ 特殊デジタルコレクション ☐ 他館蔵デジタル化資料 ☐ パッケージ系電子出版物 ☐ 電子書籍・電子雑誌

出版地

詳細検索画面で
「雑誌」だけ選択

検索結果 1 件中 1-1 件を表示

アララギ 【全号まとめ】

雑誌
アララギ発行所 (編) (アララギ発行所, 1908-1919)

1

同一タイトルでまとめる

全 990 件中 1-20 件を表示

アララギ

1910~1919

1914

7(6)

雑誌 / 木下玄太郎(ア)~6
雑誌 / 長瀬龍(ア)~7
雑誌 / 長瀬龍(ア)~11
雑誌 / 長瀬龍(ア)~12
雑誌 / 長瀬龍(ア)~13
雑誌 / 長瀬龍(ア)~14
雑誌 / 長瀬龍(ア)~15
雑誌 / 長瀬龍(ア)~16
雑誌 / 長瀬龍(ア)~17
雑誌 / 長瀬龍(ア)~18
雑誌 / 長瀬龍(ア)~19
雑誌 / 長瀬龍(ア)~20

同一タイトルで
まとめる

デジタルコレクションは、特定の雑誌の目次データベースとしても活用できます。
トップページに戻って、詳細検索モードに切り替えます。

今回は『アララギ』という雑誌について調べてみましょう。雑誌だけを検索したいので、画面の下にあるコレクションのところで一旦「全解除」をクリックし、雑誌だけにチェックを入れます。

「タイトル」欄に雑誌名を入力し、検索をクリックしましょう。

検索結果が表示されましたね。画面の左側にある「同一タイトルでまとめる」をクリックすると、検索結果に「全号まとめ」が表示されます。

クリックすると、『アララギ』のデジタル化された全ての巻号が一覧できます。画面の右側をクリックすると、目次情報が一覧できます。

このように、ある雑誌についての目次情報を通して見たいときに、「同一タイトルでまとめる」機能が役に立ちます。

ただし、デジタルコレクションの中にある巻号しかヒットしないので注意が必要です。

②国立国会図書館デジタルコレクション

画像検索機能

デジタルコレクションから切り取った画像や手持ちの画像、またはウェブ上にある画像に類似した図版（図、挿絵、写真等）を検索可能

検索対象は「ログインなしで閲覧可能」の資料



26

キーワードだけではなく、図版を手がかりに検索する機能もあります。

ウェブ上の画像やお手元の画像を使って、デジタルコレクション収録資料の中で似ている図版を検索することができます。

デジタルコレクションのトップページ「画像検索」から検索できます。

②国立国会図書館デジタルコレクション

検索方式

目次や**一部の資料の本文**も含めて、検索窓からキーワードで検索可能

- ・異体字（芸と藝 など）もまとめて検索可能
- ・数字・アルファベットの大文字/小文字/全角/半角も区別なし、平仮名と片仮名も区別なし

論理演算の入力方法（△は半角スペース）

AND検索：検索窓に「キーワード△キーワード」と入力

OR検索：検索窓に「キーワード△OR△キーワード」と入力

検索の注意点

書名・雑誌名・目次にはヨミデータが入っているが、**本文には入っていない**

本文は、漢字も含めた表記が完全一致しないと検索でヒットしない

目次データや本文データが荒いことがある

データ作成ミス（目次）やOCRの誤認識（本文）、現物が傷んでいて読み取れない場合など

27

デジタルコレクションの特徴をまとめました。

検索の注意点として、デジタルコレクションの本文データには、ヨミがはいっていないため、

本文の表記と検索キーワードが完全に一致しないと検索できない、ということがあります。

また資料現物が傷んでいて、不完全な本文データとなっている場合もあるため、検索にはスライドにあるような点をお気を付けいただければと思います。

それでも日本で最大規模の非常に便利なデータベースなので、ぜひご活用ください。

2つのデータベースの関係性

明治～昭和（戦前まで）の雑誌目次データ

ざっさくプラスに国立国会図書館デジタルコレクションの雑誌の目次データが**収録されている**（ただし、一部収録漏れがある模様）

国立国会図書館デジタルコレクションの目次データが荒い場合、ざっさくプラス側で目次データを詳細にして採録し直しているものも多い（次スライド参照）

昭和（戦後から）の雑誌目次データ

ざっさくプラスには国立国会図書館デジタルコレクションの雑誌の目次データは**収録されていない**（一部の雑誌は収録あり）

※参考：図書の目次データ、図書・雑誌の全文データについて

ざっさくプラスには国立国会図書館デジタルコレクションのデータは**収録されていない**

28

ここまで紹介した2つのデータベースについて、雑誌記事情報の収録範囲の関係性を説明します。

雑誌の発行時期によって状況が異なります。

明治から昭和の戦前期まで、ざっさくプラスには国立国会図書館デジタルコレクションの目次データが収録されています。
ですので、基本的にはざっさくプラスが国立国会図書館デジタルコレクションを含んでいる、というイメージになります。

一方で、戦後以降は、ざっさくプラスに、国立国会図書館デジタルコレクションの目次データは収録されていません。
そのため、2つのデータベースそれぞれを検索するほうが良いでしょう。
ただし、ざっさくプラスは他の多くの情報源から目次データを採録しています。
結果として、2つのデータベースの両方に収録されている情報は多いです。

2つのデータベースの関係性

ざっさくプラスのほうが目次データが詳細なケースがある

国立国会図書館デジタルコレクション

▼ 2(8)
写真
梅村蓉子/表紙
三色版
二色版
映画/p9~28,44
演劇/p33~43
記事/p29

どちらも「映画と演芸」2巻8号

ざっさくプラス

- 〈三色版〉アルバトロス「裏面の女」
無記名
1925年,映画と演芸,2-8
- 〈三色版〉帝劇「太平記盛衰」
無記名
1925年,映画と演芸,2-8
- 〈二色版〉メトロゴールドウィン「ヴィナスの戯れ」
無記名
1925年,映画と演芸,2-8
- 〈二色版〉松竹座「世帯水鼓功」
無記名
1925年,映画と演芸,2-8

29

戦前期までは、ざっさくプラスに、国立国会図書館デジタルコレクションの目次データも収録されていると言いましたが、一つ注意点があります。国立国会図書館デジタルコレクションでは、残念ながら目次情報が荒いことがあります。

たとえば、このスライドの左側の画像はデジタルコレクションの目次情報です。写真、映画、演芸などおおまかな情報しかありませんね。一方、右側はざっさくプラスです。それぞれの記事のタイトルまで書かれています。これはなぜかという、ざっさくプラスではデジタルコレクションの目次データを取り込む際に、より詳しい情報を拾っている場合があるからです。このように、2つのデータベースを両方使ってみると、得られる情報が多くなることがあります。

③Web-OYA bunko

有料のデータベース / **大阪大学では未契約**

大阪府立中央図書館、大阪市立中央図書館、国立国会図書館関西館などに
直接行けば利用可能

主な収録内容

週刊誌・女性誌・月刊総合誌など、大宅壮一文庫所蔵雑誌の記事を採録したもの
1888年以降の雑誌記事索引データ約732万件

30

3つ目に紹介するデータベースが、Web-OYA bunkoです。

大宅壮一文庫という、明治時代以降の雑誌を集めた図書館が東京にあり、そこで所蔵している雑誌の記事を検索できるデータベースです。

週刊誌や女性誌など、ここまで紹介した2つのデータベースにはあまり収録されていないジャンルをカバーしているのが特徴です。

残念ながら、大阪大学では現在このデータベースを契約していませんが、公共図書館で契約している場合があります。大阪府立図書館、大阪市立図書館、国立国会図書館関西館に直接行けば利用できます。

③大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録

冊子の書誌索引 / 総合図書館に所蔵あり

本編（明治～1984年、1985年～1987年、1988～1995年）

追補（1888～1987年）

配架場所：総合図-書庫2階 書誌・索引 R027.5||OYA||（巻）

主な収録内容

週刊誌・女性誌・月刊総合誌など、大宅壮一文庫所蔵雑誌の記事を採録したもの

本編と追補編あわせて、明治～1995年までの索引データ約225万件

総合図書館には、データベースではなく、紙の資料で、『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』を所蔵しています。

明治期から1995年発行の雑誌記事をこの資料で探すことができます。

③大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録

人名編

国内外の著名人について、その人物に関する記事を索引したもの
もちろん著者である記事も含むが、著者索引ではない

件名編

雑誌記事を事項別、事件別に分類して索引したもの
独自の大宅式分類法によって分類されている

件名編の利用手順（推奨）

- 1) 「件名総索引」で、探したい項目の件名が何かを確認する
- 2) 1)で狙いを定めた件名を用いて、総目録本体の件名編を検索する

索引を有効に活用するのがポイント

32

『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』には「人名編」と「件名編」の2種類があります。

総目録を利用するときは、索引を有効に活用するのがポイントです。

たとえば「件名編」を見る場合には、まず「件名総索引」で、自分が探したい内容がどのような件名で採られているのかを確認します。

そのうえで、今調べた件名で探す、という2つのステップを踏んでください。

件名からたどっても人名からたどっても、同じ記事にたどり着けるようになっていきます。

3つのデータベースの簡単な比較

ざっさくプラス	明治～昭和戦前の記事情報の多さ 独自データ多数で最大の収録記事数
国立国会図書館 デジタルコレクション	探索から画像確認までシームレス 本文検索機能と図書の目次情報は他2つにはない特長
大宅壮一文庫 雑誌記事索引総目録	大衆誌やサブカルチャー誌に強い 関連記事をまとめて探しやすい索引

どれか1つにしか収録されていない情報も多い
広く情報を探したいときは、3つともチェックするのがおすすめ

33

ここまで紹介してきた3つのデータベース等の簡単なまとめです。

ざっさくプラスは、独自データが多く、収録記事の量は最大です。
国立国会図書館デジタルコレクションは、検索から画像の確認までシームレスに行えます。また、本文や図書の目次情報も検索できるという強みがあります。
大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録は、大衆誌やサブカルチャー誌に強いことと、関連する記事をまとめて探しやすい点が特徴です。

探している情報が、この中のどれか1つにしか載っていないこともあります。
できるだけ広く調べたいときは、3つすべてをチェックしてみましょう。

④20世紀メディア情報データベース 占領期の雑誌・新聞1945-1949

有料のデータベース / **大阪大学では未契約**

個人年間契約（年会費5千円）提供元のインテリジェンス研究所Webサイトから申請可能

収録内容

アメリカ合衆国メリーランド大学所蔵プランゲ文庫資料のうち、

- ・全雑誌全号の記事情報
- ・日本新聞協会（当時）加盟紙の全記事情報 雑誌+新聞で合計約323万件

他のデータベースでは手薄な占領期の雑誌・新聞記事の検索に有効

プランゲ文庫とは

占領期の1945年の秋から1949年11月までにGHQが検閲によって日本全国で収集した資料のコレクション

国立国会図書館が所蔵している。一部デジタルコレクションで閲覧可能。複写物入手可能

<https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/occupation/Prange>

34

占領期の文献を探したい方は、20世紀メディア情報データベースもかなり重要です。

これまで紹介した3つのデータベースでは、実はこの占領期の年代の文献情報が十分に網羅されていないため、この時期の文献を調べたい方にとっては、特に重要なデータベースといえます。

このデータベースでは、プランゲ文庫に収録されている雑誌・新聞記事を検索できます。

プランゲ文庫とは、占領期にあたる1945年の秋から1949年11月までに、GHQが検閲によって日本全国で収集した資料を保管したものです。その中から、このスライドにあるような内容のものが検索できます。

ざっさくぶらすでは、検索結果に出てきて記事のタイトル、著者の情報までは見られますが、阪大で契約していないため、検索結果から詳細の情報は見られません。

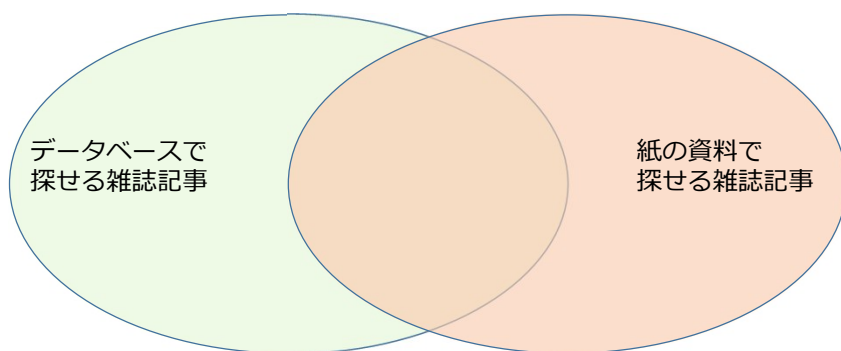
国立国会図書館では、マイクロフィルムで所蔵しており、一部デジタルコレクションで閲覧できます。詳しくはスライドにも掲載している国立国会図書館のURLをご覧ください。

参考までに、京都府立図書館では2025年度時点では契約されているようですので、お近くに住んでいる方で必要がありましたら直接行っていただければ、利用できます。また、個人で契約も可能です。

紙の書誌索引や参考図書等の活用

データベースでは得られない情報もある

⇒きちんと探索する場合は、紙の資料も併せて活用する



35

ここからは少し、書誌索引や参考図書といった紙の資料について紹介していきます。

今さら紙の資料を使うの？と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、データベースからだけでは得られない情報もまだまだありますので、網羅的に探索したい場合、紙の資料も併せて活用することが重要です。

紙の資料について：総目次

総目次

雑誌の目次情報を集めて収録した資料

複数誌を集めて収録したものと、1誌のみを対象にしたものがある

a) 複数誌を集めて収録したもの

発行時期で限定、分野で限定、作成機関の所蔵資料に限定、等さまざまなケースがある

全体の索引の有無で利便性が大きく異なる

存在を知らないとOPAC（蔵書検索）で見つけるのが難しい

b) 1誌のみを対象にしたもの

図書等として改めて発行される場合と、該当誌内で節目に収録される場合がある

前者：蔵書検索しやすい 雑誌名と、目録 or 目次 or 総覧 or 索引 or 細目などで検索

後者：存在を把握しづらいので**総目次の総覧**などを活用する

36

紙の調査ツールには、いくつかジャンルがあります。

まず「総目次」と呼ばれるジャンルのもの。これは名前のとおり、雑誌の目次情報を集めて収録したものです。

複数の雑誌を対象にしたものと、1誌のみを対象にしたものがあります。

複数誌を集めたものは、発行時期で集めたものや、分野で集めたものなどさまざまです。

蔵書検索では見つけ出すことが難しいため、いくつかメジャーなものをあらかじめ知っておくと便利です。

1誌のみを対象にした総目次は、図書として改めて発行される場合と、その雑誌内で1年単位や100号単位などの節目に収録される場合があります。

後者は存在を探し出すのが難しいため、「総目次の総覧」というジャンルの資料を活用して、まずは総目次の掲載場所を探すといよいでしょう。

紙の資料について：文献目録

ある人物に関する文献目録

多くの人物を収録したものから、特定の人物のみに焦点をあてたものまでさまざま
後者を参照できれば豊富な情報を得られる

図書として刊行されるケースや、雑誌論文として発表されるケースなどがある

採録対象はその人物の著作限定 or その人物を対象にした研究文献も含める

1つの文献目録に頼りすぎない

- ・文献目録刊行後に発表された文献がある可能性
- ・その文献目録には含まれていない文献がある可能性 を考慮する

代表的な紙の資料については、本教材のWebページに別途掲載している
[『参考資料：明治～昭和期の雑誌記事を探すために有効な冊子資料について』](#)
もごらんください。



37

続いて、ある人物に関する文献目録というジャンルをご紹介します。
ある人物を対象に研究を進めていく場合、まず文献目録が存在するかどうか調べると、その後の調査が捗ります。

ただ、一つの文献目録に頼りすぎるのは要注意です。
文献目録が刊行された後に発表された文献があるかもしれません。また、文献目録が見逃している文献があるかもしれません。文献目録をベースにしつつ、データベースなど他のツールも使って、追加調査を行うと完璧です。

代表的な紙の資料については、別途掲載している参考資料をご覧ください。
ご自身の研究に利用できそうな資料については、ぜひ一度現物を手に取って確認してみてください。

紙の資料の活用ポイント

Point1：自分の探索内容や制約条件によって使い分ける

ある特定の雑誌に的を絞った研究（＝雑誌が制約条件）→ **総目次**

ある人物の著作をできるだけ集めたい（＝人物が制約条件）→ **人物文献目録**

ある事件・事象を扱った記事を集めたい→ **件名索引のある資料**が便利

Point2：索引を有効に活用する

索引があるかどうか必ず確認し、あれば正確に活用する

Point3：収録内容や採録基準を把握する

凡例などで「何を探せていて、何を探せていないか」を明確に意識して活用する

38

最後に、書誌索引や参考図書といった、紙の資料を活用するときのポイントをご紹介します。

1つ目は、自分の探索内容や制約条件によって使い分けることです。
たとえば、ある特定の雑誌に注目した研究をしているときは、その雑誌の総目次を使えば良いですね。
このように、なにを調べたいかが明確になると、利用すべき資料がおのずと決まってきます。

2つ目は、索引を有効に活用することです。
索引があるかどうかを確認し、あるときは利用方法を確認した上で正しく活用すると、調査効率がかなり向上します。

3つ目は、収録内容や採録基準を把握して使うことです。
これはデータベース活用のポイントと同じで、自分が何を探せているのかを理解した上で使う、ということです。
紙の調査ツールには、多くの場合「凡例」というページが最初にあります。そこに収録内容や採録基準が書かれていることが多いです。
凡例をまず読むことで、この資料で何を探せるのかがよく分かります。

2.新聞記事情報の探し方

第2章では、新聞記事情報の探し方を紹介します。

新聞記事探索ツールの概要

新聞ごとのデータベースの活用が基本

大手4紙（朝日・読売・毎日・日経）は阪大でデータベースの契約あり
記事探索ツールとしては、ほぼこれだけ

留意点：紙面画像があってもキーワード検索できない部分がある

キーワード検索が有効な範囲をきちんと把握して活用する
キーワード検索が効かない部分は、紙面画像を目視確認していくしかない

40

まず、新聞記事情報の探索ツールの概要です。

朝日・読売・毎日・日経の大手4紙については、阪大で有料のデータベースを契約しています。
記事探索ツールとしては、基本的にこれだけです。

これらのデータベースを使う際の留意点としては、キーワード検索が有効な範囲をきちんと把握して使うことがとても重要になります。
明治から昭和期については、当時発行された実際の紙面を画像データとしてだけ取り込み、本文のテキストデータまでは取り込めていないものが多いです。
そのため、キーワード検索をしても本文がヒットしない、ということがあります。

キーワード検索が有効な範囲の違い

同じ期間・同じキーワードでそれぞれ検索

キーワード「足尾銅山」

期間：1890/1/1～1899/12/31

データベース	検索結果件数
朝日新聞クロスサーチ	587件
読売新聞 ヨミダス	391件
毎日新聞 マイ索	8件

キーワード検索が有効な範囲の違いが大きく影響

41

例として、朝日・読売・毎日のデータベースを「足尾銅山」という同じキーワードで、期間を1890年から1899年に指定して検索してみました。
検索結果の件数を見ると、大きな違いがあるのが分かりますね。
もちろん新聞によって紙面の内容は違いますが、それにしてもここまで件数に違いが生じるのは、キーワード検索が有効な範囲に違いがあるためです。

各データベースのキーワード検索可能な範囲については後のスライドで詳しく説明します。

日本の全国紙の特徴を理解する

各本社版や地域面の存在を意識する

引用情報などから特定の記事を探しているがなぜか見つからない・・・

→必ずしも東京本社版の記事とは限らない。別の本社・支社版や、地域面掲載かも？

◆ 各本社版

- ・ 日本の大手全国紙の場合、国内をいくつかのエリア（＝本社・支社）に分け、そのエリアごとに紙面編集を行っている
- ・ →各本社版ごとに採録記事・記事内容・記事掲載面が異なることがある

◆ 地域面

- ・ 都道府県（もしくはさらに細かいレベル）で編集されている面
ローカルニュースの掲載や、地域面内のみでの連載などが掲載される

42

日本の新聞記事を探すときに、もうひとつ大事なポイントがあります。それは、「本社版」や「地域面」の違いを意識することです。引用情報をもとに記事を探しても見つからない場合、実は東京本社版ではなく大阪本社版の記事だったり、地域面に載っていたりすることがあります。

全国紙では、地域ごとに紙面を編集しているため、本社版ごとに、記事の内容や掲載面が異なることがあります。

このあと紹介する「朝日新聞クロスサーチ」では、各本社版の紙面画像を見比べることができるので、同じ日付でも紙面がどう違うのかを確認できます。

さらに、「地域面」と呼ばれる面があります。これは、都道府県、もしくはさらに細かいレベルで編集されているページです。大阪版や神戸版など、新聞の後ろの方にあるのを見たことがあるかと思います。こうした地域面にはローカルニュースや、地域面内のみでの連載が掲載されることがあります。

新聞データベースへのアクセス方法

キャンパス内からのアクセス

- 図書館Webサイトの「データベース」タブ
- 「よく使われるタイトル」
- 該当の新聞データベースをクリック

キャンパス外からのアクセス

- 図書館Webサイト
- 「キャンパス外から電子リソースを使う」
- 該当の新聞データベースをクリック
- 阪大個人IDとパスワードでログイン



同時アクセス数の制限にご注意ください！



43

阪大が契約している新聞データベースへのアクセス方法を紹介します。
最初にご紹介したざっさくプラスのアクセス方法とほぼ同じです。

大阪大学のキャンパス内からアクセスするときは、以下の手順です。

1. 図書館のWebサイト、トップページの検索窓の上にある「データベース」のタブをクリック
2. 「よく使われるタイトル」をクリック
3. 中ほどに新聞のデータベースがあるので、使いたいものをクリック

大阪大学のキャンパス外からアクセスするときは、以下の手順です。

1. 図書館のWebサイト、トップページにある「キャンパス外から電子リソースを使う」をクリック
2. 使いたいデータベース名を探してクリック
3. 大阪大学個人IDとパスワードでログインする

一つ注意点があります。新聞データベースは契約上、大阪大学内で同時に利用できる人数が決まっています。

アクセスできなかったら、時間をおいて再度アクセスしてみてください。

また、使い終わったら速やかにログアウトするよう、ご協力をお願いします。

①朝日新聞クロスサーチ

		1880	1890	1900	1910	1920	1930	1940	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010	2020
東京	「縮刷版」タブ		1888創刊～1999：記事見出し+キーワード検索 / 紙面画像あり													
	「記事」タブ												1984.8～記事全文検索 ※紙面画像は2005.11～			
大阪	「縮刷版」タブ		1879創刊～1999：紙面画像あり。以下の期間のみ記事見出し+キーワード検索可。 東京創刊までの1879～1888、東京休刊の1923/9/2～1923/9/25 *このほか、明治・大正期から選定した重要記事約2,000件は検索可。													
	「記事」タブ												1989.2～記事全文検索 ※紙面画像は2005.11～			
名古屋・西部	「縮刷版」タブ							1940.9～1999：紙面画像あり。記事検索不可。								
	「記事」タブ												1989.4～記事全文検索 ※紙面画像は2005.11～			
北海道	「縮刷版」タブ									1959.5～1999：紙面画像あり。 記事検索不可。						
	「記事」タブ												1999.6～記事全文検索 ※紙面画像は2005.11～			

44

1つ目に紹介する新聞データベースは朝日新聞クロスサーチです。

まずは紙面画像の収録範囲です。東京本社版と大阪本社版は、それぞれ創刊号から収録されています。名古屋本社版や西部本社版、北海道支社版は1940年代からの収録です。

次に、キーワード検索が可能な範囲を確認してみましょう。

東京本社版は、記事見出しと、その記事に対してクロスサーチが付与したキーワードを検索できます。創刊号から全て検索できるので便利です。

ただし、大阪本社版について注意が必要です。紙面画像は全てあるのですが、検索できる範囲がかなり限られており、東京朝日新聞が創刊されるまでの1879年～1888年と、東京本社版が関東大震災の影響で休刊していた期間のみ、キーワード検索が可能です。

このほかに、明治・大正期から朝日新聞社が選定した重要記事のみ検索ができます。つまり、大阪朝日新聞については、明治期～大正期については、網羅的な記事の検索ができないということになります。

名古屋本社版や西部本社版、北海道支社版については、明治から昭和期の記事検索は全くできません。

このように、紙面画像を利用できることと、記事をキーワード検索できることとは全く別なので注意が必要です。

①朝日新聞クロスサーチ

The screenshot shows the Asahi News Cross Search homepage. The left sidebar contains a menu with the following items: TOP, 記事 1985~, 縮刷版 ~1999, 地域面検索 8版, 戦前の外地版, 現代用語, 英文ニュース, and 人物. The '縮刷版 ~1999' item is highlighted with a yellow box, and a yellow callout box points to it with the text '明治~昭和期の記事検索はこのタブを選択' (Select this tab for searching articles from the Meiji to昭和 periods). The main search area has a search bar containing '足尾銅山 AND 鉱毒' and a '検索' button. Below the search bar are buttons for 'AND', 'OR', 'NOT', '(', and ')'. A yellow callout box points to these buttons with the text 'クリックすると自動挿入' (Click to auto-insert). Below the buttons are checkboxes for '記事' (checked), '異体字を含む', '広告' (checked), and '同義語を含む'. A '条件クリア' button is also present. The '発行日' section has dropdown menus for year, month, and day. The '検索年代' section has checkboxes for '1879~1926年 明治・大正' (checked), '1926~1945年 昭和(戦前)', and '1945~1989年 昭和(戦後)'. The page number '45' is visible in the bottom right corner.

こちらが朝日新聞クロスサーチのトップページです。
明治から昭和期の記事を検索するときは、まず左側のメニューで「縮刷版 ~1999」のタブに切り替えます。

キーワードは右側の検索窓に入力します。
AND検索やOR検索も可能です。検索窓の下にある「AND」や「OR」ボタンをクリックすることで設定できます。
ここでは例として、「足尾銅山」と「鉱毒」という2つのキーワードでAND検索してみます。

①朝日新聞クロスサーチ

総件数 1,501 件

1~50件 次の50件 >

印刷

☐ キーワードを表示 順序: ☐ 新しい順 ☒ 古い順 件数: ☐ 10 ☐ 20 ☒ 50 ☐ 100

00001	1891年（明治24年）10月13日 東京 朝刊 1頁, 6段, 記事 鉱毒一件の紛擾	書誌詳細
00002	1891年（明治24年）12月19日 東京 朝刊 1頁, 2段, 記事 ◆◆足尾銅山鉱毒に関する質問	
00003	1891年（明治24年）12月26日 東京 朝刊 田中氏の皮肉	縮刷版~1999>キーワード検索>書誌詳細表示 1891年（明治24年）10月13日 東京 朝刊 1頁, 6段, 記事 紙面イメージ表示
00004	1891年（明治24年）12月26日 東京 朝刊 無形の官吏安岡右馬吉（読み間違い）	見出し 鉱毒一件の紛擾 主要キーワード 野州 足尾銅山 鉱毒 流失, 渡瀬川, 堤防工事, 久保田健二郎, 帝国大学, 司法権, 行政処分, 金 大分類 "経済, 災害・事件・事故"

クロスサーチ側でキーワードを付与し、書誌詳細で確認できる

こちらが検索結果一覧です。各記事について、本社版や朝刊・夕刊区別なども表示されています。

「足尾銅山」「鉱毒」という2つのキーワードを含むものももちろんヒットしていますが、例えば一番上の「鉱毒一件の紛擾（ふんじょう）」という記事には、「足尾銅山」というキーワードは含まれていません。

これがヒットした理由は、記事に対してクロスサーチが付与した検索キーワードに合致したからです。

検索結果の右端にある（クリック1）「書誌詳細」をクリックすると（クリック2）、その記事にどのようなキーワードが付与されているか確認できます。

ご自分で検索キーワードを検討する際の参考にもできる、便利な機能です。

①朝日新聞クロスサーチ



特定の日付の紙面を探すときは
「日付検索」タブをクリック

※「キーワード検索」タブから発行日で検索すると
キーワード検索可能な紙面しかヒットしない

※明治～昭和期の東京本社版・一部年代の大阪本社版以外の
紙面・記事検索は「日付検索」タブを使うしかない

次に、ある特定の日付の紙面を探す方法です。

この場合は、「縮刷版」タブの二つ下にある「日付検索」タブをクリックし、「発行日」で日付を指定したうえで、上にある「紙面検索」ボタンをクリックする、という手順です。

「縮刷版」タブのすぐ下にある「キーワード検索」タブから検索してしまうと、キーワード検索可能な紙面しかヒットしないので注意してください。

先ほど説明したとおり、東京本社版以外は、明治～昭和期に関してはほぼ記事検索ができません。

そのため、「日付検索」タブから紙面画像を確認するのがベストな方法です。

①朝日新聞クロスサーチ

紙面検索結果一覧

総件数 16 件 1~16件

印刷

順序: ○新しい順 ●古い順 件数: ○10 ○20 ●50 ○100

00001	1941年(昭和16年)12月08日 東京 朝刊	
00002	1941年(昭和16年)12月08日 東京 号外	
00003	1941年(昭和16年)12月08日 大阪 朝刊	
00004	1941年(昭和16年)12月08日 西部 朝刊	
00005	1941年(昭和16年)12月08日 名古屋 朝刊	
00006	1941年(昭和16年)12月08日 名古屋 号外	
00007	1941年(昭和16年)12月08日 北海道 朝刊	
00008	1941年(昭和16年)12月09日 東京 朝刊	
00009	1941年(昭和16年)12月09日 東京 夕刊	
00010	1941年(昭和16年)12月09日 大阪 朝刊	
00011	1941年(昭和16年)12月09日 大阪 夕刊	

クリックすると
紙面画像が開く

こちらが検索結果の一覧です。

このように、各本社版の画像がリストになっています。
右端のアイコンをクリックすると、実際の紙面の画像を見ることができます。

①朝日新聞クロスサーチ

強みや特徴（明治期～昭和期の記事検索について）

- 記事見出し+クロスサーチが付与したキーワードで検索可能
- 東京版も大阪版も創刊号から紙面画像がある
- 各記事にどのようなキーワードが付与されているか確認できる
- 有名な事件・人名は「歴史キーワード参照」「年表参照」で関連記事を一括検索可能
- クロスサーチが用意している範囲での異体字・同義語検索が有効

高度な検索

- AND検索やOR検索は、検索窓下のボタンを押せば可能
- ()を使ったより複雑な検索も可能

朝日新聞クロスサーチの特徴をまとめました。

②読売新聞 ヨミダス

東京本社版

創刊号から紙面画像あり

記事見出し+キーワード検索可能

東京本社版以外は紙面画像閲覧・記事検索不可

		1880	1890	1900	1910	1920	1930	1940	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010	2020
東京	明治・大正・昭和	1874創刊～1989.1：紙面画像あり、記事見出し+キーワード検索が可能														
	平成・令和												1989.1～ 記事全文検索+キーワード検索 ※紙面画像は2003.9～			
大阪・西部・中部	平成・令和												1990～ 記事全文+キーワード検索 ※紙面画像は2003.9～			

50

次に読売新聞のデータベース、ヨミダスです。

こちらまずは収録範囲を見てみましょう。

東京本社版は創刊号から紙面画像があって、記事見出しとその記事へヨミダスが付与したキーワードを検索できます。データベース側で検索キーワードを付与しているという点は、クロスサーチと同じですね。

一方、東京本社版以外は、紙面画像を見ることも記事を検索することも全くできないという状況です。

②読売新聞 ヨミダス

The screenshot shows the Yomiuri News website search page. At the top, there are four tabs: '読売新聞 (1874~)' (highlighted with a yellow box), '紙面を見る (2023~)', 'The Japan News (1989~)', and '現代人名録'. Below the tabs, the '読売新聞' section is active, showing a search bar and various filters. A yellow box highlights the 'AND/OR' section, which includes options for 'すべての検索語を含む' (selected) and 'いずれかの検索語を含む'. Another yellow box highlights the '期間' (Period) section, which includes options for '日付範囲' (selected), '日付一致', and '時代選択'. A third yellow box highlights the search results area, which includes a list of search results and a '詳細条件を閉じる' button. A yellow callout box on the right contains the following text: '日付や期間を指定して紙面を通覧したいとき' (When you want to browse the paper by date or period), followed by a numbered list: 1) 日付範囲・日付一致・時代選択のいずれかを選択 (Select one of date range, date match, or era selection), 2) キーワードを入力せず「検索する」をクリック (Click 'Search' without entering a keyword), 3) 記事一覧画面で任意の記事をクリック (Click any article on the article list screen), and 4) 紙面画像表示画面でページや日付を変更する (Change the page or date on the paper image display screen).

明治~昭和期の
記事検索は
このタブを選択

読売新聞
(1874~)

紙面を見る
(2023~)

The Japan News
(1989~)

現代人名録

読売新聞

1874年(明治7年)からの記事をご覧いただけます。

検索語を入力

検索

一 詳細条件を閉じる

AND/OR

☒ すべての検索語を含む ☐ いずれかの検索語を含む

検索対象

すべて

言葉の

異体字

☒ 異体字を含める ☐ 異体字を含めない

除外ワード (NOT)

A 除外するワード

期間

☒ 日付範囲 ☐ 日付一致 ☐ 時代選択

日付指定

☒ 年 月 日 から 年 月 日

☐ 年 月 日 から 年 月 日

51

こちらがヨミダスのトップページです。

明治~昭和期の記事を検索するときは、一番左側のタブを選択します。
検索窓にキーワードを入力して使うところは、他のデータベースと同じですね。

AND検索やOR検索をしたいときは、検索窓の下にある詳細条件を指定します。
日付や期間を指定して検索することもできます。
期間を指定したり、特定の日付だけを指定したり、明治・大正・昭和などの時代を設定することもできます。
ご自分が探している記事にあわせて、検索方法を工夫してみてください。

②読売新聞 ヨミダス

強みや特徴（明治期～昭和期の記事検索について）

記事見出し+ヨミダス歴史館が付与したキーワードで検索可能

東京版は創刊号から紙面画像がある

各記事にどのようなキーワードが付与されているかは確認できない

ヨミダスが用意している範囲での異体字・同義語検索が有効

高度な検索

AND検索やOR検索は、検索窓下の詳細条件指定から可能

詳しい解説は[利用ガイド参照](#)

ヨミダスの特徴をまとめました。

③毎日新聞 マイ索

紙面検索：東京版（創刊-1999年）、大阪版（創刊-1942年）

記事検索：東京版の主要記事の見出しのみ

		1880	1890	1900	1910	1920	1930	1940	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010	2020
東京	紙面検索	1872創刊～1999：紙面画像のみ、検索不可														
	記事検索	1872創刊～1986：紙面画像あり、主要記事見出しでの検索のみ										1987～ 記事全文検索 ※紙面画像は1999年まで。				
大阪	紙面検索	1876創刊～1942：紙面画像のみ、検索不可														
	記事検索												1990.10～記事全文検索 ※紙面画像無し			
中部・西部・北海道	記事検索												1994/1995～ 記事全文検索 ※紙面画像無し			

53

次にご紹介するのは、毎日新聞のデータベース、マイ索です。

まずは収録範囲を見てみましょう。

紙面の画像は、東京版は創刊号から昭和期末まで、大阪版は創刊号から東京日日新聞と合併する1942年まで検索できます。

大手4紙の中では一番古い、1872年（明治5年）の紙面が見られるのが特徴です。

マイ索は、記事検索の性能が、朝日・読売のデータベースとは大きく異なっているのが特徴です。

検索できるのは、東京版の中でも「主要」記事の見出しだけです。

「主要」なので、全ての記事ではありません。また、本文のキーワードでの検索もできません。

残念ですが、明治～昭和期の毎日新聞については、記事検索はほとんどできず、紙面画像を見ることができるのみ、ということになります。

③毎日新聞 マイ索

毎日新聞社のデータベース **毎 索** マイソク

お知らせ

◆毎日ヨコンサーチに、2018年7月～2018年12月の調査結果を追加しました。

検索

簡易検索
毎日新聞と週刊エコノミストがキーワードと日付で横断検索できます

記事検索はここから
※明治～昭和期は東京版の
主要記事見出しでの検索のみ

詳細検索

毎日新聞記事検索
毎日新聞記事（本紙・地方版）を
日付、キーワード検索できます
収録期間：1872年（明治5）～現
在

毎日新聞紙面検索
毎日新聞紙面イメージを日付検索
できます
収録期間：1872年（明治
5）～1999年（平成11）

紙面検索はここから

54

こちらがマイ索のトップページです。

記事検索をするときは簡易検索か、「毎日新聞記事検索」を選択します。
日付や期間を指定して、直接紙面を見たいときは、右にある「毎日新聞紙面検索」をクリックしてください。

3つの新聞データベースの補足

- キーワード検索機能や収録範囲について、詳細は各データベースのヘルプをチェック
- 朝日新聞クロスサーチ「全国の地域面」、読売新聞ヨミダス「昭和の地域面」では、昭和に遡って地域面の紙面画像の収録が進められている（有料オプションのため大阪大学では利用不可）
- 朝日新聞クロスサーチ「戦前の外地版」オプションも大阪大学では利用不可
- 継続的に機能改善（収録範囲の拡大等）を行っており、随時状況は変わる

各新聞についての詳しい情報は『[資料別調べ方ガイド③ 新聞資料の探し方](#)』をご参照ください。
例えば、読売新聞と毎日新聞の大阪本社版について、データベースに紙面画像の収録が無い年代の冊子等の所蔵情報などもまとめています。



55

ここまで紹介した3つの新聞データベースの補足です。

どのデータベースでも、詳しい使い方を紹介したヘルプページがあります。ヘルプを読むと正確にデータベースを使うことができます。

また、朝日新聞と読売新聞では昭和の地域面を収録したオプションがあります。大阪大学ではこのオプションを契約していないため使えませんが、公共図書館で契約しているところがあり、利用できる場合があります。阪大図書館にご相談いただきましたら、利用できる図書館をご案内します。

各新聞についてのより詳しい情報は、別途掲載している『[資料別調べ方ガイド③ 新聞資料の探し方](#)』をご覧ください。

④日本経済新聞 日経テレコン

記事全文を読めるのは1981年以降

1974年以前の紙面画像はオプション（大阪大学は未契約）

		1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
東京	記事検索 (日本経済新聞朝刊 /夕刊)	1975.1~1981.9: 記事見出し+一部記事の抄録のみ (画像・全文とも無し)									
		1981.10~: 記事全文検索									
		1988.6~: 紙面画像あり									
各本支社 記事 +地域版	記事検索 (日経地方経済面)	1976.1~1982.10: 記事見出し+一部記事の抄録のみ (画像・全文とも無し)									
		1982.11~: 記事全文検索									
		1993.1~: 紙面画像あり									

56

次に、『日本経済新聞』のデータベースである「日経テレコン」についてもご紹介します。

大阪大学の契約では、1981年以降の記事しか読むことができません。

そのため、今回の講習会のテーマ、明治～昭和の新聞記事を探すという観点からは、使うことが少ないデータベースといえます。

その他のデータベース

神戸大学新聞記事文庫（無料データベース）

<https://da.lib.kobe-u.ac.jp/da/np/>

神戸大学経済経営研究所が選別・収集した新聞記事をデジタル化したもの

採録紙：大阪の主要紙・経済紙が中心、経営・経済を主体として幅広い分野

収録対象：明治末～昭和45年

本文の全文検索も可能

新聞広告が対象のデータベースなど

『資料別調べ方ガイド③ 新聞資料の探し方』B2-2参照

57

このほか、無料で使えるおすすめのデータベースとして、神戸大学新聞記事文庫があります。

神戸大学経済経営研究所が長年にわたって集めた新聞の切り抜き記事をデジタル化したもので、本文の全文検索ができるという点が特徴的です。

経営・経済分野が中心ですが他の分野の記事も含まれるので、一度検索してみると思わぬものが見つかるかもしれません。

このほか、新聞広告を対象としたデータベースもあります。

先ほどご紹介した「資料別調べ方ガイド③」B2-2をご覧ください。

大手4紙以外の新聞記事検索について

- 東京新聞/中日新聞、産経新聞はデータベースが存在するものの、明治～昭和期は今のところ収録されていない
- そのほかの業界紙や地方紙についても、データベースが少しずつ登場しているが古い時代まで遡れていないと思われる
- 冊子体等で索引類が出版されている新聞はある
例. ○○新聞記事一覧、○○新聞索引、○○新聞記事目録
- 「ある出来事の報道のされ方を知りたい」場合は集成資料も有効
『明治/大正/昭和 ニュース事典』 『新聞集成 明治/大正/昭和 編年史』 『新聞集成大正史』
『日本初期新聞全集』
※ [『資料別調べ方ガイド③ 新聞資料の探し方』](#) B3-1 参照

58

大手4紙以外の新聞についても触れておきます。いくつかの新聞には記事検索データベースが存在していますが、昭和期やそれ以前まで遡っているものは見当たらないのが現状です。

ただ、紙の資料として、索引類などの調査ツールが刊行されているものは一部存在します。大手4紙も含めて、各新聞についてのより詳しい情報は『資料別調べ方ガイド』をご覧ください。
どのように調べたらいいかわからないときは、お気軽に阪大図書館のカウンターにご相談ください。

3.実際に記事を手に入る

第3章では、雑誌記事・新聞記事を実際に入手する方法をご紹介します。

雑誌記事：資料形態のさまざま

復刻版	原本の紙面を撮影・複写などして作製した冊子
マイクロフィルム	原本を縮小撮影したもの。専用の機械で閲覧する
デジタル化資料	原本などをもとにデジタル化した画像。 デジタルアーカイブとして無料公開されているものや、データベース・電子ジャーナルとして販売されているものなどがある。
全集やアンソロジー などへの収載	雑誌の一記事や雑誌連載が後に別の資料に収載されることがある。 原本との異同有無には注意が必要であり、初出を確認して原本等にあたるほうが望ましい。

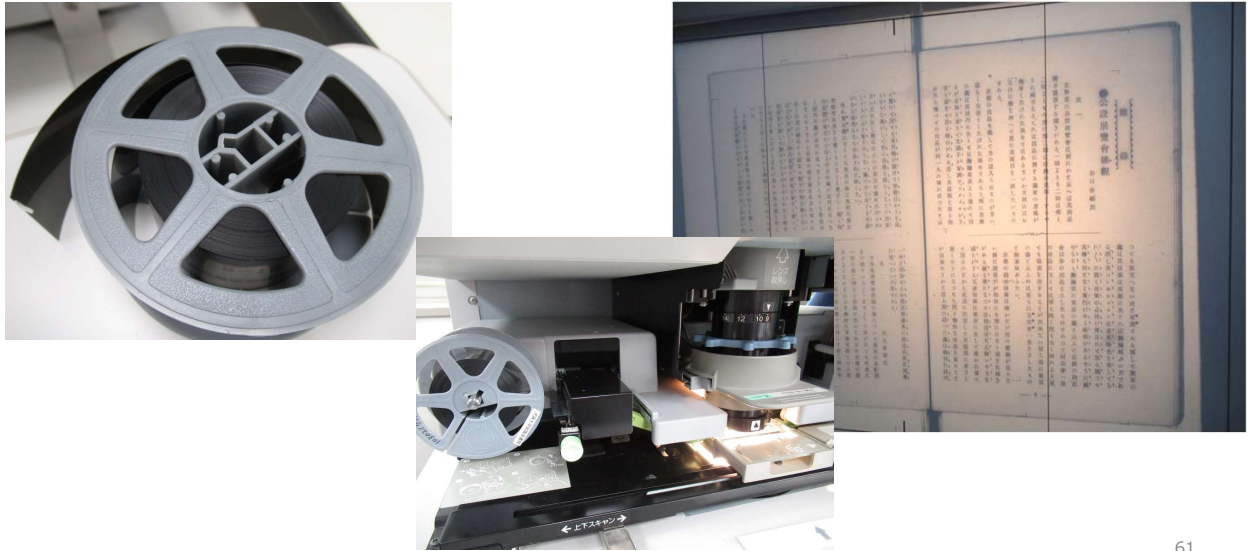
60

まずは雑誌記事の入手方法です。

明治～昭和期の雑誌は、メジャーなものを中心に原本以外の形態で出版・提供されているものがあります。雑誌原本を閲覧できればそれに越したことはないのですが、発行から時間が経っていて保管されていないケースも多いです。そうしたときには、複製版で代用することも検討しましょう。

このスライドには主な複製版の形態をまとめました。
復刻版、マイクロフィルム、デジタル化資料は原本をそのまま複製したのですが、表の一番下、全集やアンソロジー（作品集・選集）などへ収載されたものは、原本と異なる可能性もあります。ただ、どこが異なるのか、確認が難しいです。研究で参照するときには、原本もしくは原本に忠実に再現されている、表の上3つのうちのどれかを使うことをおすすめします。

雑誌記事：マイクロフィルム



61

表の2番目、マイクロフィルムというのはこの写真のように、原本を縮小撮影してフィルムの形にしたものです。
総合図書館の2階にある、マイクロフィルムリーダーにセットして閲覧します。
印刷することもできます。

新聞記事：資料形態のさまざま

原紙のまま保存されていることは少ない

→複製資料からの入手が主になる

縮刷版	原本の紙面を撮影・複写などして作製した冊子
マイクロフィルム	原本を縮小撮影したもの。専用の機械で閲覧する
デジタル化画像 (データベース)	大手紙の場合は、検索ツールとしてのデータベースがそのままデジタル化画像閲覧ツールとなる

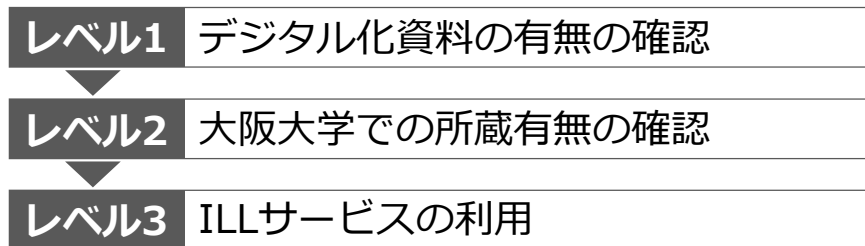
62

つづいて新聞記事です。

新聞の場合、原紙のままで保存されていることはあまりありません。紙質が長期保存に向いていなかったり、保存するには分量が多すぎるというのが理由です。そのため、この表にあるような複製資料にあたるしかないケースが多いです。先ほど紹介したデータベースのほかにも、縮刷版やマイクロフィルムなどの複製物で利用できるものが多くあります。

本文入手に向けた流れ

以下のような優先順位で調査を進めるのがおすすめ



63

雑誌でも新聞でも、記事本文を手に入れるには、この図のように3段階で調査を進めていくのがおすすめです。
順番にご説明します。

レベル1：デジタル化資料の有無の確認

基本的には雑誌・新聞単位での利用可否を以下の2つで確認

大阪大学OPAC および OPACに情報が反映されていない契約データベース
国立国会図書館デジタルコレクション

※国文学研究資料館「近代書誌・近代画像データベース」でも雑誌・新聞の公開あり
→2024年4月に国書データベースに統合 <https://kokusho.nijl.ac.jp/>

※ある機関が雑誌単位でデジタル化して公開していることもある
インターネットで調べてみるのもおすすめ

例：東京文化財研究所所蔵資料アーカイブズ「みづゑの世界」
<http://mizue.bookarchive.jp/>

64

まず最初に、デジタル化資料の有無を確認します。

基本的には雑誌・新聞単位での利用可否を確認することになります。

まずは大阪大学で利用できるかどうかを調べ、それから国立国会図書館デジタルコレクションで利用できるかどうかを確認する、という2つの方法がおすすめです。

そのほか、なかなか気付きにくいですが、ある機関が雑誌単位でデジタル化して公開していることもあります。

例えば、美術雑誌「みづゑ」のうち明治期のものを、東京文化財研究所がデジタル化して画像公開しています。

ある雑誌に着目して研究している場合は、こうしたデジタル化画像が存在しないか、インターネットで少し探してみても良いかもしれません。

レベル1：デジタル化資料の有無の確認

阪大で利用できるデジタル化資料（＝電子ジャーナル）

基本的には大阪大学OPACで雑誌・新聞名で検索可能だが例外あり

OPACではヒットしない雑誌などの例

JapanKnowledge Lib内のコンテンツ

- ・ 風俗画報
- ・ 太陽
- ・ 文芸倶楽部 明治篇 文芸倶楽部1-3
- ・ 滝田樗陰旧蔵近代作家原稿集
- ・ 文藝春秋アーカイブズ

データベース「太宰治自筆資料集」



データベース一覧に詳細記述あり

大阪大学OPACで検索するときは、雑誌や新聞名で検索しましょう。

阪大で利用できる電子版の雑誌や新聞は、基本的にはOPACで検索できるのですが、例外がいくつかあります。

それがこのスライドに書かれた雑誌です。

これらはデータベースの中に収録されているため、OPACでは検索できません。各データベースから直接利用するしかないので、この分野が関係しそうな方は、頭の片隅に置いていただくと良いかと思います。

レベル1：デジタル化資料の有無の確認

国立国会図書館デジタルコレクション

阪大OPACには情報が登録されていないので別途検索する必要がある

公開レベルが「ログインなしで閲覧可能」「送信サービスで閲覧可能」のいずれかで
あれば利用可能

特定の雑誌の収録有無を調べる便利な方法

雑誌分類検索 <https://dl.ndl.go.jp/ja/serial.html>

デジタルコレクションに収録されている雑誌を主題から探すことのできるサイト
「この分野の雑誌が何か収録されていないか」という探し方をしたいときに便利

66

続いて、国立国会図書館デジタルコレクションでの検索です。

阪大OPACとは別に検索する必要があります。

国立国会図書館デジタルコレクションでの記事の検索方法は、教材前半でご紹介したとおりです。

「この雑誌が収録されているか知りたい」というときに便利なサイトをスライドに掲載しています。

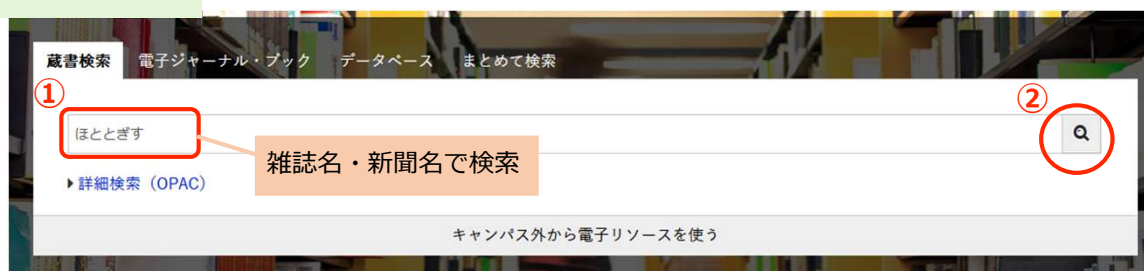
レベル2：大阪大学での所蔵有無の確認

大阪大学OPACを使って各種形態を一括で検索

必ず雑誌名・新聞名で検索する（記事名ではヒットしないので注意！）

資料形態（原本、復刻版、マイクロフィルムなど）ごとに別々にヒットする
所蔵巻号の範囲を要確認

図書館Webサイト



67

大阪大学で利用できるデジタル化資料が見当たらない場合は、次の段階として、大阪大学での紙やマイクロフィルムなどの所蔵有無を阪大OPACで確認します。

図書館Webサイトのトップページにある検索窓にキーワードを入力します。
記事のタイトルではヒットしないので、必ず雑誌名か新聞名で検索してください。

レベル2：大阪大学での所蔵有無の確認

☐ 1. 雑誌

ほととぎす
 1号 ([明30.1])-20号 (明31.8) ; 2巻1号 ([明31.10])-5巻12号 ([明35.9]). - 松山 : ほととぎす発行所
 1897-1902
 書誌ID=3001036674 NCID=AN00302947

配架場所	所蔵番号	年次	請求記号	コ
総合図	15-20;2,3(2-10),4(2-3,6-7,11-12),5	1897-1898;1898-1901		

 所蔵件数: 1件

☐ 2. 雑誌

ホトトギス
 6巻1号 ([明35.10])-. - 富士見町 (東京市) : ほととぎす
 書誌ID=3002104723 NCID=AA11227717

配架場所	所蔵番号
総合図	7(1-9),8(7-8),9(3,7,10-11),11(1,4),19,20(1-2,5,7,5(2-11),26(1-9),27(3-7),28(1-8),29(3-12),30(1-9),2),37(1-5),38-44,46(2-3),50(3-12),51-53

☐ 3. 雑誌

ホトトギス
 複製版. - 6巻1号 ([明35.10])-15巻12号 (大1.9). - 東京 : 日本近代文学館, 1972-1973
 書誌ID=3002121139 NCID=AN00391324

配架場所	所蔵番号	年次	請求記号	コメント
総合図	6-15	1902-1912		

 所蔵件数: 1件

☐ 4. 雑誌

ほととぎす
 複製版. - 1号 ([明30.1])-20号 (明31.8) ; 2巻1号 ([明31.10])-5巻12号 ([明35.9]). - 東京 : 日本近代文学館, 1972-
 書誌ID=3002122143 NCID=AA12721377

配架場所	所蔵番号	年次	請求記号	コメント
人文日本文学	1-20;2-70	1897-1898;1898-1967		

例では、「ホトトギス」という雑誌を検索しています。

今回探しているのは雑誌なのですが、関係なさそうなものもヒットした場合には、検索結果を絞り込むと良いです。

こういうときは検索結果を絞り込みましょう。左側の「資料タイプ」の「雑誌」にチェックを入れると、雑誌のみ表示させることができました。

雑誌「ホトトギス」では、5件ヒットします。

雑誌の出版年を見比べてみると、ひらがなの「ほととぎす」だったのが、明治35年からはカタカナの「ホトトギス」へ名称が変わっています。こうしたときは別の雑誌としてヒットします。

さらによく見てみると、「複製版」と書かれた雑誌もあります。5件のうち、3件は複製版です。

このように、OPACでは原本や複製版、タイトル変更などで別々にヒットすることがあります。

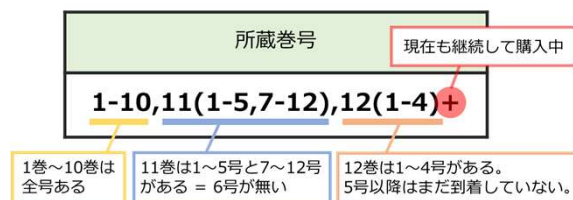
読みたい記事が載っている号はどこに含まれているのか、しっかりチェックするようにしましょう。

レベル2：大阪大学での所蔵有無の確認

OPACなどでの所蔵巻号の読み取り方

多くの雑誌は「巻」「号」の2階層だが、1階層のみの雑誌もある

数字	雑誌の「巻」を表します。
カッコ内の数字	雑誌の「号」を表します。
- (ハイフン)	前後の数字の間の巻もしくは号が 全て所蔵されていることを表します。
+	現在も継続して購入中であることを表します。



69

OPACなどでの所蔵巻号の表示には一定のルールがあります。
こちらのスライドにまとめました。

レベル3：ILLサービスの利用

Inter Library Loanの略称

図書館同士のネットワークで他の図書館の資料を利用するしくみ
阪大他キャンパスの図書館、他大学の図書館、国立国会図書館 など
※公共図書館についてはお近くの公共図書館にご相談ください

申込は附属図書館Webサイトから

受取は総合図書館では相互利用カウンター（A棟2階）
※平日9時～17時のみ

70

デジタル化された資料がなく、阪大にも所蔵されていない場合は、最後の手段としてILLサービスがあります。
ILLサービスとは、図書館同士のネットワークを活用して他の図書館の資料を利用する方法です。
他の大学の図書館、国立国会図書館などもこのネットワークに入っています。

レベル3：ILLサービスの利用

1. 複写取り寄せ

コピーの取り寄せ（雑誌記事、図書の一部・・・）

有料（複写料と送料）※学内の他キャンパスからの取り寄せなら複写料のみ

2. 図書取り寄せ

図書自体を取り寄せて借りる（雑誌は取り寄せ不可）

有料（往復送料）※学内からの取り寄せはOPACの  ボタンから（無料）



Webサービスの
「文献複写・現物貸借申込み」から

71

ILLサービスでできることについて説明します。

1つ目は複写の取り寄せです。雑誌記事の場合はこの方法を使って、コピーを取り寄せます。

他の大学からの取り寄せの場合、コピー1枚が40～50円程度、それに加えて送料がかかります。ページ数にもよりますが、1本の記事を千円以下で入手できることが多いです。

申込後、3日～1週間程度で阪大に到着します。

他大学だけではなく、大阪大学の他のキャンパスの図書館からの取り寄せもできます。こちらは送料はかかりません。

2つ目は図書の取り寄せです。これは、他の大学から図書そのものを取り寄せるサービスです。往復の送料として、資料のサイズや郵送する距離にもよりますが、1500円程度を負担していただきます。

ただし、現物を送ってもらえるのは図書扱いのものだけです。雑誌は借りることができないので、1つ目の方法、複写取り寄せをご利用ください。

ILLサービスの申込は、附属図書館Webサイトからできます。Webサイト右上のWebサービス「文献複写・現物貸借申込み」から申し込みができます。

阪大個人IDとパスワードでログインして、必要事項を入力してお申し込みください。

レベル3：ILLサービスの利用

3. 訪問利用

直接、資料を所蔵している図書館・研究機関に行く

阪大図書館が先方との間の仲介を行う

利用希望日の5日前までに各図書館カウンターまたは[紹介状発行依頼フォーム](#)に相談

※貴重資料の場合は早めに（2週間前までを目途に）

※総合図書館ではB棟2階の参考調査カウンターが担当

★関西大学との相互利用協定

関西大学（ミューズ大学図書館を除く）は予約不要

学生は学生証 / 教職員は教職員証または大阪大学附属図書館利用者票の提示だけで利用できる

※**常勤教職員、大学院生、学部学生が対象**

非常勤の先生、研究生の方などは訪問利用の手続きが必要

72

ILLサービスでできることにはもう一つ、訪問利用があります。
資料を所蔵している大学図書館や研究機関へ、皆さんが直接行くというものです。

例えば、10年分の雑誌をまとめて見たい、といったときに有効な手段です。
阪大図書館が、所蔵している図書館との仲介をします。
大学図書館の多くは、ふらっと行っても入館できません。事前の申し込みが必要という図書館がほとんどです。まずは阪大図書館にご相談ください。

訪問利用は、利用希望日の5日前までには図書館のカウンターか、Webサイトの紹介状発行依頼フォームからご相談ください。
相手先の図書館とのやりとりに時間がかかりますので、日程に余裕を持ってご相談いただくと助かります。
総合図書館では、B棟2階の参考調査カウンターでご相談を受け付けます。

関西大学の図書館とは協定を結んでいるため、大阪大学の学部学生、大学院生、常勤の教職員の方は訪問利用の手続きは不要です。直接図書館へ行って、学生証や教職員証、阪大の図書館利用者票を提示すると入館できます。
非常勤の先生や研究生・聴講生の方は、他の大学と同じように訪問利用の手続きが必要ですので、阪大図書館にご相談ください。

(参考) 所蔵機関を探せるツール

- CiNii Books <https://ci.nii.ac.jp/books/>
国内大学・研究機関の所蔵資料の検索
- 国立国会図書館サーチ <https://ndlsearch.ndl.go.jp/>
国立国会図書館・都道府県立・政令指定都市の図書館所蔵資料の検索
- カーリル ローカル <https://calil.jp/local/>
都道府県ごとの図書館等の所蔵資料の横断検索
- 国立国会図書館リサーチ・ナビ 戦前期雑誌の所蔵機関
https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/humanities/post_737
戦前期雑誌の主な所蔵機関の個別検索
- 全国文学館協議会 会員館一覧 <https://zenbunkyo.com/members>
全国の文学館のリスト

分からないときはお気軽に
ご相談ください！



訪問利用の行先を検討する際に役立つ、所蔵機関を探せるツールをリストアップしました。

これらが基本的なツールですが、雑誌や新聞はなかなか見つからないことがあります。

所蔵機関が分からないときは図書館員もお手伝いします。お気軽にご相談ください。

本日のまとめ

最後に、この教材のまとめです。

まとめ：記事情報の探索

雑誌記事情報

複数のデータベースを併用する（データベースによって収録情報が異なる）
必要に応じて紙の書誌索引・参考図書も併用する

新聞記事情報

基本的な探索方法は新聞データベースの活用
キーワード検索が有効でない部分は、紙面画像を目視で確認するしかない
特定の記事を探索しても見つからない場合、各本社版や地域面の存在を意識する

第1章では、雑誌記事情報の探し方をご紹介しました。
それぞれのデータベースによって収録されている情報が違うので、複数のデータベースを併用することが大切です。また、必要に応じて書誌索引や参考図書といった紙の資料も活用していきましょう。

第2章では、新聞記事情報の探し方についてご紹介しました。
全国紙の場合、新聞データベースを活用することが基本的な方法です。その際は、それぞれのデータベースについて、キーワード検索が有効な部分をよく理解して活用するようにしましょう。
特定の記事を探索しても見つからない場合は、東京本社版以外の各本社版や、地域面の掲載記事である可能性も考慮してください。

まとめ：記事本文の入手

以下のような優先順位で調査を進めるのがおすすめ

レベル1 デジタル化資料の有無の確認

レベル2 大阪大学での所蔵有無の確認

レベル3 ILLサービスの利用

第3章では、記事本文の入手方法をご紹介します。

まずデジタル化資料の有無を確認し、次に大阪大学での紙資料などの所蔵有無を確認します。

それでも見つからなければ、ILLサービスの利用をご検討ください。

(参考) 国立国会図書館リサーチ・ナビ

テーマや資料ごとの調べ方ガイド。調査に有用な資料・Webサイトを多数紹介している

<https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi>

本講習会の内容作成にあたり、リサーチ・ナビの以下の項目を参照しました。

雑誌の総目次を探す / 雑誌記事索引 / 文学作品の初出を調べる / 戦前期雑誌の所蔵機関

書評を探す / 人物文献（伝記など）を探す / 国立国会図書館所蔵の内務省交付本

ブランゲ文庫の検索 / Gordon W. Prange Collection

主題書誌（関連文献リスト）を探すには / ジャーナリズム・出版に関する文献を探すには（主題書誌）

音楽に関する文献を探すには（主題書誌）

美術・建築に関する文献を探すには（主題書誌）

演劇・映画に関する文献を探すには（主題書誌）

日本文学に関する文献を探すには（主題書誌）

77

最後に、参考情報として「国立国会図書館 リサーチ・ナビ」というサイトをご紹介します。

これは、国立国会図書館が作っている、テーマや資料ごとの調べ方ガイドです。今日の講義で扱ったような、探すのが少し難しい情報についても、とても詳しく紹介されています。

分野やキーワードで検索できるので、研究のヒントになりそうなガイドがないか、ぜひチェックしてみてください。

ご相談ください

総合図書館B棟2F 参考調査カウンター

- ・ 職員がお待ちしております
- ・ 平日9:00-17:00（事前予約不要）
- ・ メール・オンラインでの相談も受け付けます

大阪大学附属図書館 レファレンスデスク

https://www.library.osaka-u.ac.jp/research/reference_desk/

- ・ メール・フォーム・オンラインでの相談受付中
- ・ 附属図書館4館のレファレンス・スタッフが
随時ご相談・参考調査に応じています



レファレンス・デスク



大阪大学附属図書館

ここまで見てきたように、明治～昭和期の雑誌・新聞記事については、情報が集約されておらず、いろいろな手段を使って検索するしかないというのが現状です。本日紹介した手段を活用しても情報が見つからないケースもあるかと思います。

そんなときは、お気軽に図書館職員へご相談ください。

総合図書館ではB棟2階の参考調査カウンターで受け付けます。また、生命科学図書館・理工学図書館・外国学図書館の各図書館のカウンターでもお受けしていますので、お困りの際はまずはお近くの図書館にご相談ください。

参考文献など

阿部幸江 (2018)「国立国会図書館オンラインの目次データを使用した資料の検索方法」『参考書誌研究』79, pp.15-59.

小林昌樹 (2023)「第2回 デジコレの2022年末リニューアルをチェック! 官報編」『大検索時代のレファレンス・チップス』皓星社. 2023-02-24. https://www.libro-koseisha.co.jp/webcolumn/reference_tips2_02/, (参照2024-07-01)

長尾宗典 (2023)『帝国図書館：近代日本の「知」の物語』中央公論新社.

長澤雅男, 石黒祐子 (2016)『レファレンスブックス：選びかた・使いかた』三訂版, 日本図書館協会.

日本出版学会関西部会編 (2019)『出版史研究へのアプローチ：雑誌・書物・新聞をめぐる5章』出版メディアパル.

藤巻修一 (2013)「『雑誌記事索引集成データベース』の誕生と機能：明治初期からの雑誌記事検索を可能にした『ざっさくプラス』」『みんなの図書館』435, pp.10-18.

毛利和弘 (2019)『文献調査法：調査・レポート・論文作成必携：情報リテラシー読本』第8版, 日本図書館協会.

本講習会で使用した国立国会図書館デジタルコレクションの画像は、「国立国会図書館デジタルコレクション」（国立国会図書館）(<https://dl.ndl.go.jp/>) をトリミングして作成しました。

また、国立国会図書館デジタルコレクション以外のデータベース画面の画像につきましては、事前に提供元へ使用条件を確認のうえ、その許可範囲内で使用しております。国立国会図書館デジタルコレクションも含めて、データベースの操作画面やデータベース内コンテンツの画像について、本資料からの二次的な転載はご遠慮ください。

これが最後のスライドです。

E-learning教材をご覧いただき、ありがとうございました。